



China

# 中国の最も新しい世界遺産、 「鼓浪嶼」(コロンス島)と 「可可西里」(フフシル/ココシリ)

中国国家観光局 駐日本代表処

2017年7月2日～12日にポーランド南部の都市・クラクフで開催されたユネスコ「第41回世界遺産委員会」において、福建省の「鼓浪嶼」(コロンス島)と青海省の「可可西里」(フフシル、またはココシリ)が新たに世界遺産として登録されました。

今回新たに2カ所が追加され、中国の世界遺産は計52カ所となりました。



## 鼓浪嶼(コロンス島)の概要

廈門市の南西の海に浮かぶ面積2平方kmほどの小島「鼓浪嶼」(コロンス島)。廈門からフェリーで30分ほどの場所にあるこの島は、18世紀に建てられた世界各国の公館や外国人の住居といった美しい建築物の多くが今もなお、そのままの姿で残っています。

一年通して穏やかな気候のこの島は、年中花が咲き緑が多いことから「海上花園」の美称で知られています。また全国で唯一の「歩行島」としても知られるこの島の島内の移動手段は、排気ガスの出ない電気自動車/カートと徒歩のみ。美しい歴史的建築物に加え、きれいな空気、町の静けさもこの島の魅力です。



海上からコロンス島を望む



コロンス島から廈門を望む



左が廈門、右がコロンス島

## 鼓浪嶼(コロンス島)の観光スポット

### 日光岩

島の中心に位置する日光岩は、高さ92.7mのコロンス島の最高峰で、頂上からはコロンス島全域と対岸の廈門が一望できます。

麓には民の正徳時代に建造された「日光寺」があります。このお寺はもともと巨大な岩をくり抜いて本堂が造られ、その後、破損・改修を繰り返し現在に至っています。日光寺は環境がよく、これまで多くの高僧がここで修行を行っており、近代の高僧・弘一法師もここで修行したことが知られています。岩の壁面には、1573年に丁一中が書いた「鼓浪洞天」、1915年に許世英が書いた「天風海涛」といった歴代の偉人が刻んだ大きな文字も見られます。

また日光岩は、民の時代の英雄・鄭成功(1624～1662年)の軍隊が駐留した場所としても知られ、今もここには「山中の砦門」と「水操台」が残されています。



日光寺・鐘樓



日光岩外観



日光岩頂上

## ピアノ博物館

菽荘花園の「聴涛軒」には、中国唯一といわれるピアノ博物館があります。館内にはアメリカ、イギリス、フランス製などの古いピアノ約30台が展示されています。ここには19世紀にイギリスで製造されたピアノの上に照明用の蠟燭台が設置されている「Collor & Collor」、ドイツ皇室が使用した王冠のマークがはめ込まれている「RONISCH」、1864年に製造された世界的に有名な「Steinway & Sons」、ヨーロッパで最も長い伝統を誇る「BROADWOOD」、織機の原理で造られた自動演奏ピアノ「MARSHAIL MENDELL」といった他ではなかなかお目にかかれない素晴らしいピアノが展示されています。

ピアノ博物館が設立されたことで、コロンス島は「ピアノの島」、「音楽の故郷」としても世界的に知られるようになりました。



## 菽荘花園

島の南部に位置する菽荘花園は、1913年に私人の庭園として建造されました。オーナーは林爾嘉、林叔臧とも称され、「菽荘」花園はその発音に近い当て字を使ったとされています。

コロンス島の景観と優れた造園技術を融和して建造されたこの花園は「蔵海園」と「補山園」の二つの部分に分けられています。「蔵海園」は眉寿堂、任秋閣、真率亭、四十四橋、招涼亭など、「補山園」は頑石山房、十二洞天、亦愛吾儘、聴潮樓、小蘭亭などの名所が見どころです。



## 皓月園

コロンス島の南東、鷺江沿いにある「皓月園」は、中国の英雄・鄭成功の偉大な功績を記念するために造られました。1985年8月オープン、面積2万平米ほどの大きな公園です。海岸沿いには、256個の花崗岩で出来ている高さ15.7m、重さ1,617トンの中国の歴史的人物の彫像の中で最大といわれる鄭成功の彫像が立っています。

また園内の広場に設置された高さ4.7m、長さ13.5mの大型彫像「藤牌駆虜」には、往年、鄭成功が軍隊を指揮して東の台湾に渡り、オランダ人から台湾を奪い返した歴史的場面が刻まれています。



その他、大型水族館「廈門海底世界」、「万石園林植物園」等もコロンス島おすすめの観光スポットです。

### ★コロンス島へのアクセス

廈門(東渡フェリーターミナル)よりフェリーで約30分。  
 フェリー運航時間: 07:10~20:50は20分毎、21:15~23:45は30分毎、00:15~06:15は1時間毎の運航。  
 季節により、運航時間が異なります。詳しくは運航会社にお問い合わせください。

## 可可西里(フフシル、またはココシリ)の概要

中国西北部・青海省玉樹チベット族自治州治多県の西北部に位置する「可可西里」は、1996年12月、高原特有の自然景観と希少動物を保護する国家自然保護区に指定されました。関東地方1都6県の約1.4倍にあたる総面積約45,000平方キロの広さを有する可可西里は、高原湖泊の分布が最も密集している世界的にも有名なエリアで、中でも可可西里湖、太陽湖、雪蓮子が最も有名です。

緯度の高い寒冷地帯という独特な自然環境によって多種多様な自然タイプと原始生態環境が形成されています。中国で野生動物の数が最も多い場所としても知られる可可西里は、高原野生動物の天然楽園・王国とも称され、ここに生息する希少生物種は、世界から注目されています。

なお、可可西里に生息し、国家一級保護動物に指定されているチベットカモシカは、「強い」、「速い」という習性から、2008年北京オリンピックのマスコットにも選ばれています。



可可西里国家自然保護区 入口

可可西里の自然景観



可可西里の希少動物



高原湖泊



自生する希少植物・胡楊林

### ★可可西里へのアクセス

バスや鉄道といった交通機関がないため、タクシーなどの車をチャーターする必要があります。